

タカラスタンダード株式会社

2025年3月期 第1四半期

決算説明資料

2024年8月1日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

Takara standard

1. 2025年3月期 第1四半期 決算概要 P. 2 ~ 12

2. トピックス P. 14 ~ 16

2024年4-6月
決算概要

売上高は新築集合向けが牽引し、第1四半期の過去最高を更新。
営業利益・四半期純利益とも増益。

【売上高】

573億円

前期比 +0.1%

リフォーム向けは、価格改定に伴う駆け込み需要があった前期と比べ減少したものの、新築集合向けが各製品部門とも好調に推移したことにより増収となった。

【営業利益】

30億円

前期比 +15.4%

在庫削減などの合理化・コストダウンを実施したことや価格改定により、営業利益・四半期純利益ともに増益となった。

【四半期純利益】

20億円

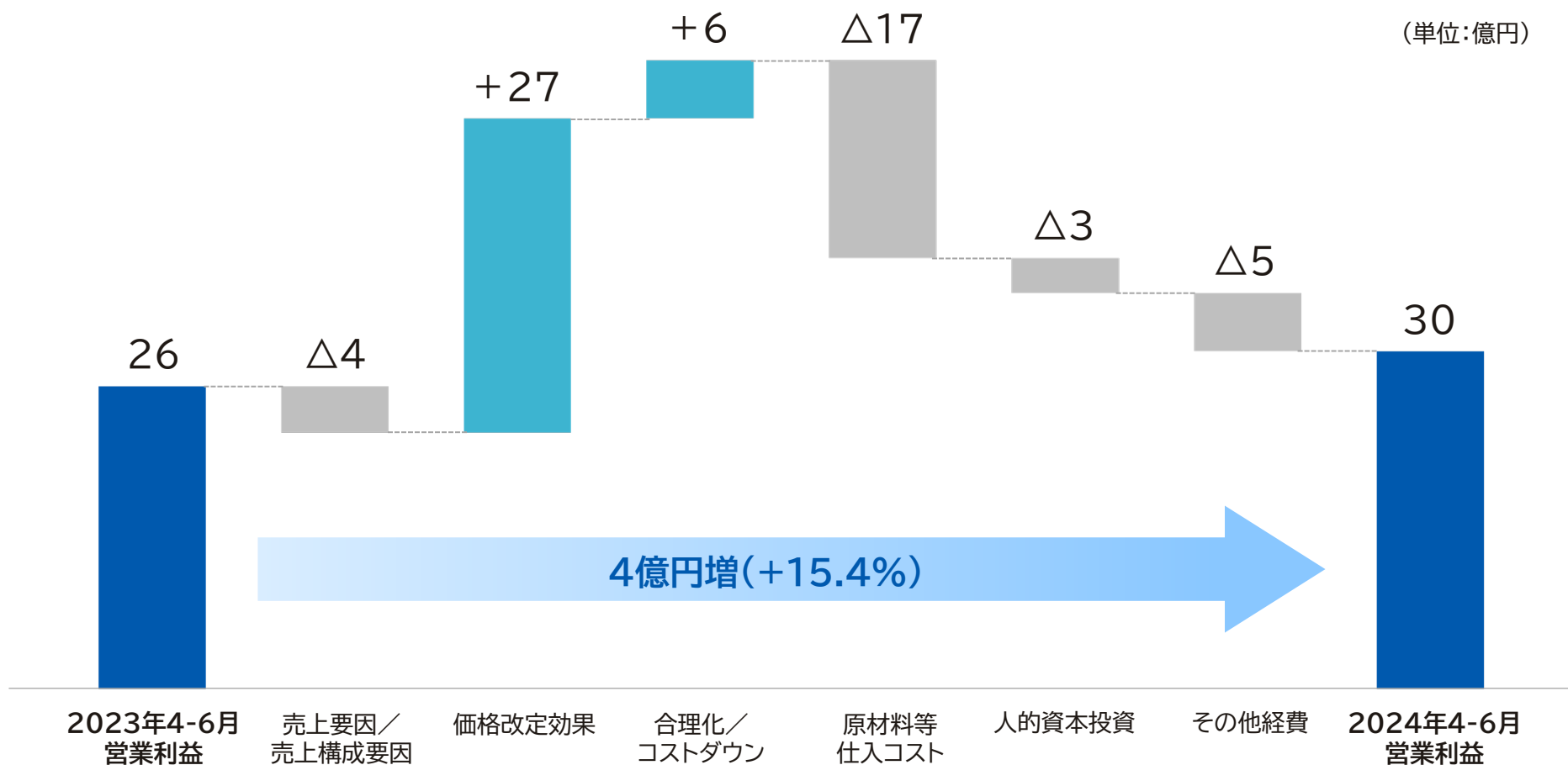
前期比 +7.7%

(単位:億円)

	2023年4-6月		2024年4-6月				2024年4-9月 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	進捗率
売上高	572	100.0%	573	100.0%	+0	+0.1%	1,166	49.2%
売上総利益	190	33.3%	197	34.5%	+6	+3.6%	—	—
販売費及び 一般管理費	164	28.7%	166	29.1%	+2	+1.7%	—	—
営業利益	26	4.7%	30	5.4%	+4	+15.4%	64	48.4%
経常利益	28	5.0%	32	5.7%	+4	+14.2%	65	50.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19	3.4%	20	3.6%	+1	+7.7%	42	49.4%

営業利益の増減要因

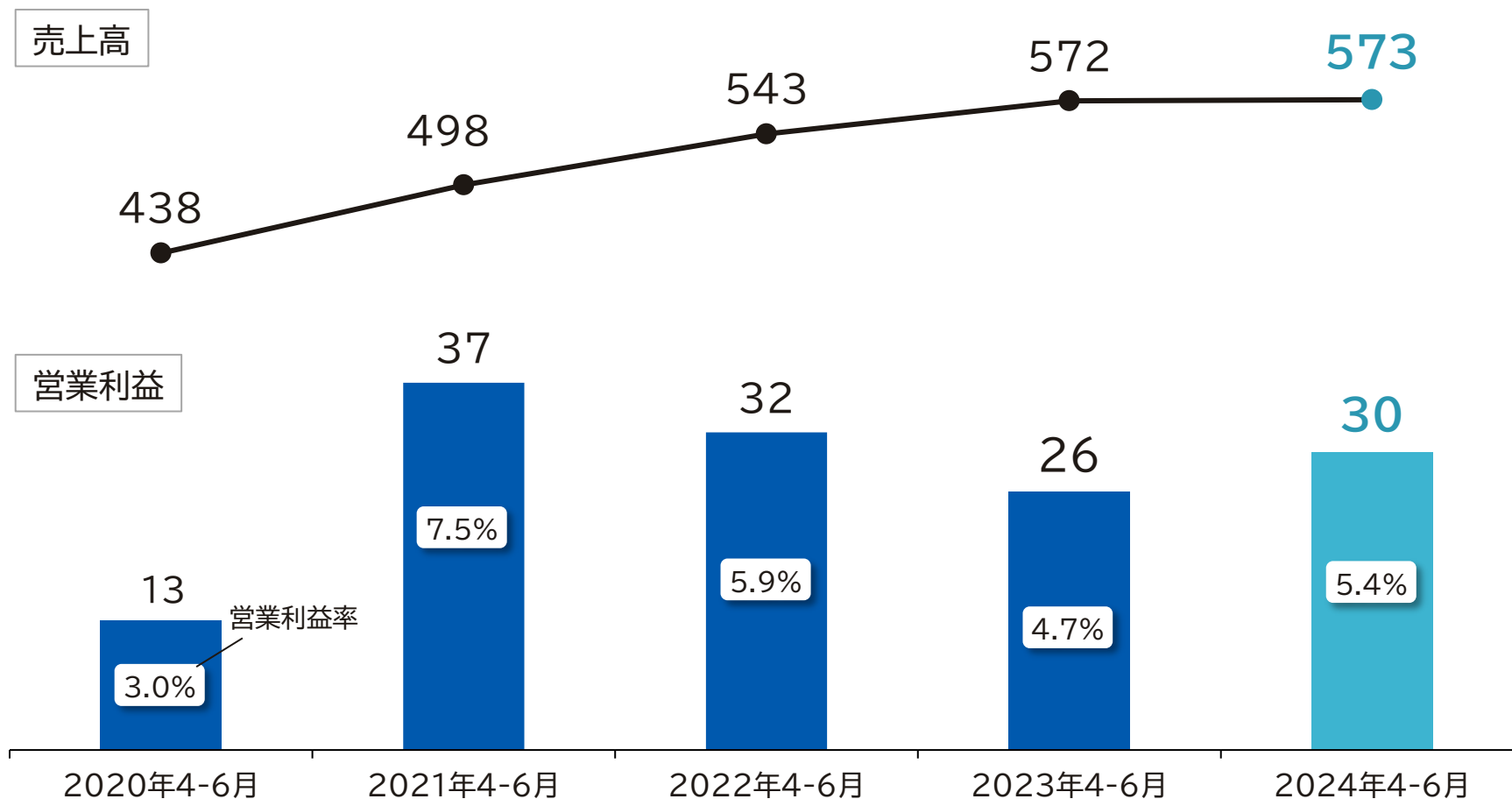
リフォーム売上の減少や原材料等仕入コスト増による減益要因があったものの、2023年度実施の価格改定効果が当期にも寄与し、また在庫削減など合理化・コストダウンを実施したことにより、利益が増加した。



売上高 及び 営業利益の推移

Takara standard

(単位:億円)



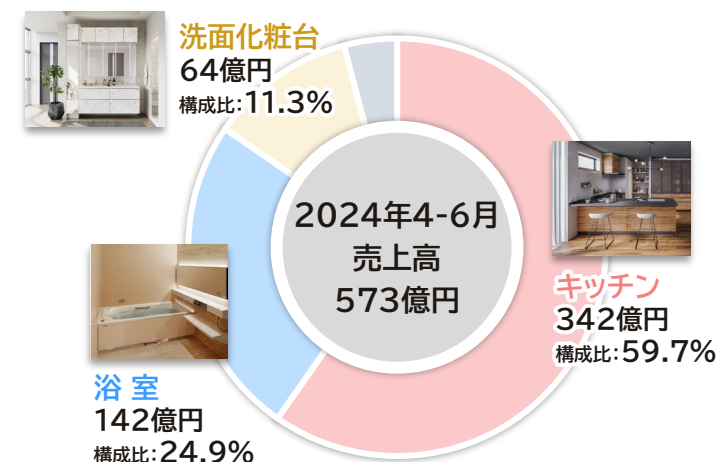
※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2020年4-6月は遡って適用した数値となっております。

製品部門別の売上高

各製品部門とも堅調に推移。

(単位:億円)

	2023年4-6月		2024年4-6月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	340	59.6%	342	59.7%	+1	+0.4%
浴室	143	25.0%	142	24.9%	△0	△0.3%
洗面化粧台	62	11.0%	64	11.3%	+1	+3.1%
その他共 計	572	100.0%	573	100.0%	+0	+0.1%



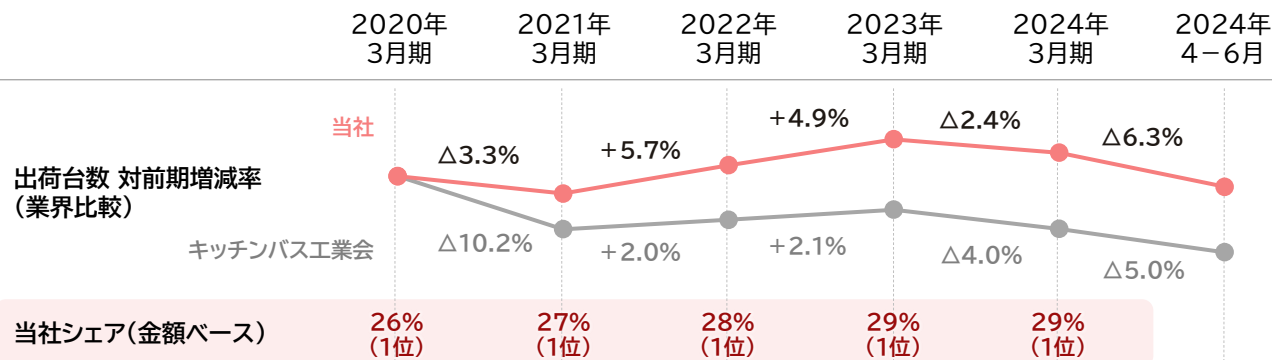
【内数】

パネル関連売上	17	3.1%	16	2.9%	△1	△7.3%
海外事業売上	3	0.6%	2	0.5%	△0	△17.4%

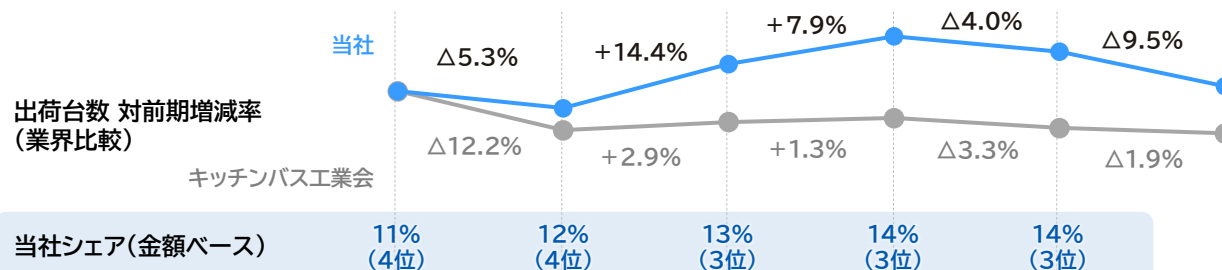
出荷台数増減率 及び 当社シェアの推移

出荷台数の対前期増減率は業界(キッチン・バス工業会)に対し、足元は前期の駆け込み需要の影響によりやや低調に推移。2024年3月期の当社業界シェア(金額ベース)は、全部門とも着実に上昇。

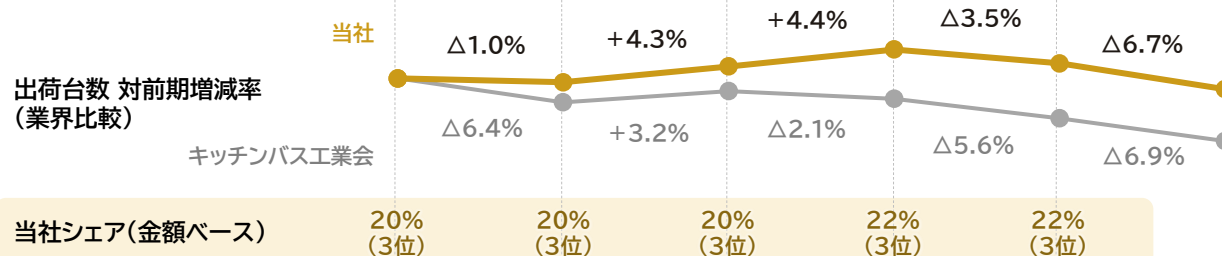
キッチン



浴室



洗面化粧台

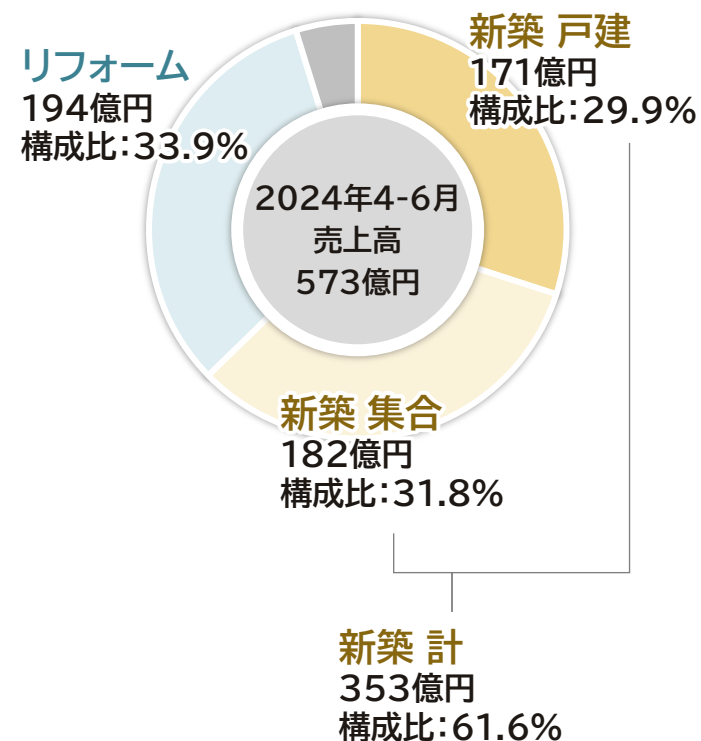


※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載
※業界シェアは当社調べ

リフォーム市場は前期の価格改定に伴う駆け込み需要があったことから、売上は前期を下回ったものの、新築市場は主に集合住宅向けが好調に推移したことにより増収となった。

(単位:億円)

		2023年4-6月		2024年4-6月			
		金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	174	30.6%	171	29.9%	△4	△2.3%
	集合	157	27.5%	182	31.8%	+25	+15.9%
	計	332	58.0%	353	61.6%	+21	+6.3%
リフォーム		214	37.4%	194	33.9%	△19	△9.2%
その他共 計		572	100.0%	573	100.0%	+0	+0.1%



2024年6月末の総資産は 2,710億円、前期末比 23億円の増加。

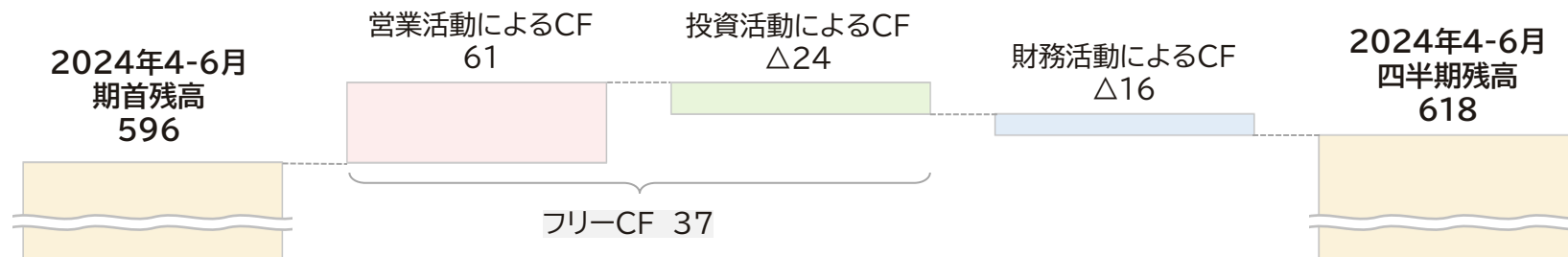
(単位:億円)

		2024年 3月末	2024年 6月末	増減	主な内容
資産	流動資産	1,549	1,561	+12	現金及び預金 +21 棚卸資産 △11
	固定資産	1,137	1,148	+11	有形固定資産 +5 投資その他の資産 +6
資産合計		2,686	2,710	+23	
負債	流動負債	612	622	+9	仕入債務 +10
	固定負債	200	201	+1	
負債合計		812	823	+11	
純資産		1,873	1,886	+12	四半期純利益 +20 剰余金の配当 △18 その他包括利益累計額 +10
負債純資産合計		2,686	2,710	+23	

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の四半期残高は、期首596億円から21億円増加し、618億円となった。

(単位:億円)



	2023年 4-6月	2024年 4-6月	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	803	596	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73	61	税金等調整前四半期純利益 30 売上債権・棚卸資産の減少 20 仕入債務の増加 5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20	△24	有形固定資産の取得による支出 △24
フリーキャッシュ・フロー	△94	37	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15	△16	配当金の支払額 △16
現金及び現金同等物の四半期残高	693	618	

増収増益を計画（売上高:1.9%増、営業利益:16.7%増）

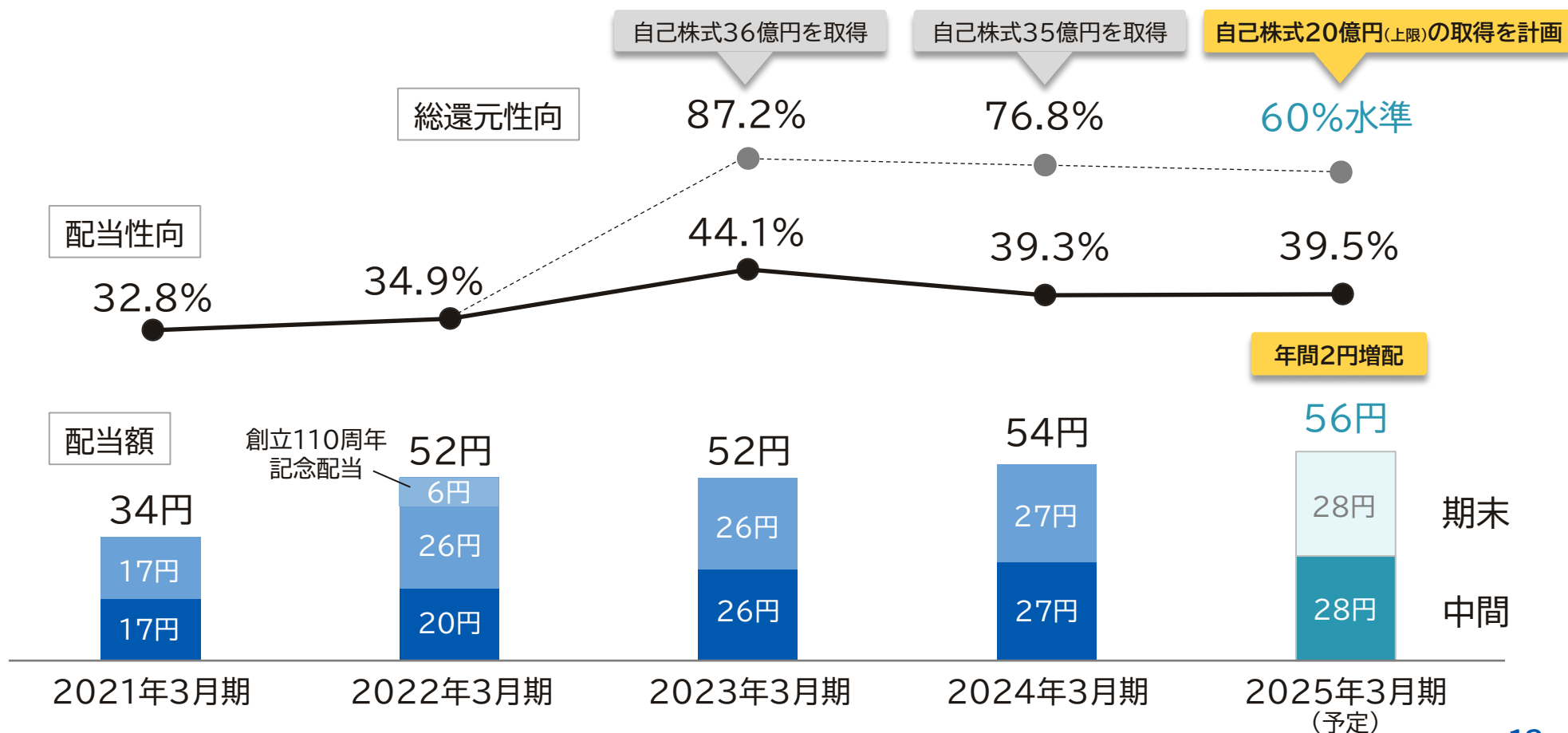
「商品力の強化」、「リフォーム市場への取組み強化」を更に推進するとともに、前期に実施した価格改定の効果継続や生産性の向上により、収益力の改善を図る。

（単位:億円）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減	
			増減	増減率
売上高	2,347	2,391	+43	+1.9%
営業利益	124	145	+20	+16.7%
営業利益率	5.3%	6.1%	+0.8P	—
経常利益	127	147	+19	+14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	97	+1	+2.1%

資本効率の向上及び株主還元の充実を目的に、
2025年3月期は「増配」と「自己株式取得」を予定

2025年3月期の配当は年間56円(2円増配)を予定。また自己株式取得20億円(上限)も実施予定。

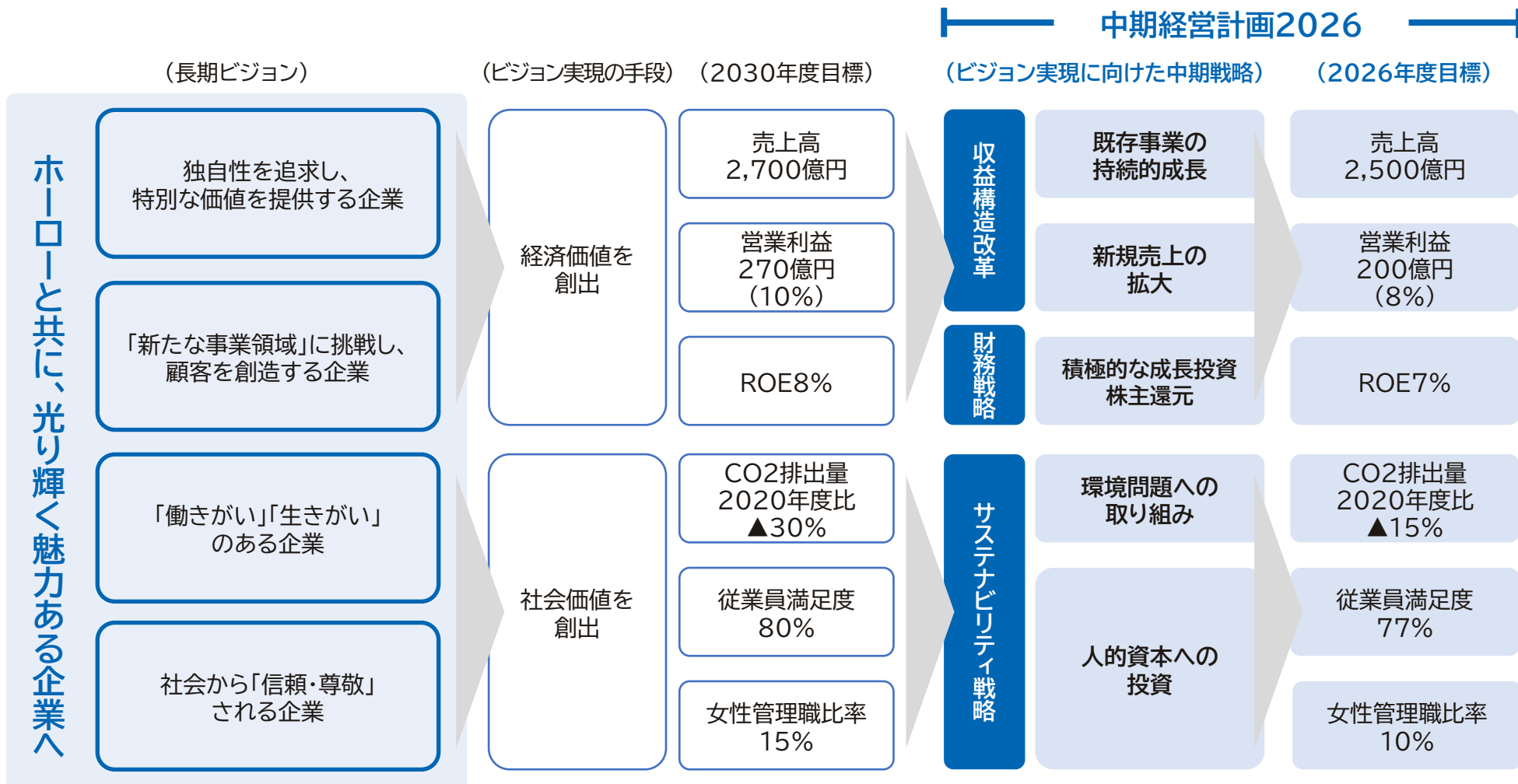


1. 2025年3月期 第1四半期 決算概要 P. 2 ~ 12

2. トピックス P. 14 ~ 16

中期経営計画2026テーマ 「変革への再挑戦」

長期ビジョン『ホーローと共に、光り輝く魅力ある企業へ』の実現に向け、「収益力強化」と「持続的成長を実現する基盤構築」に取り組む。

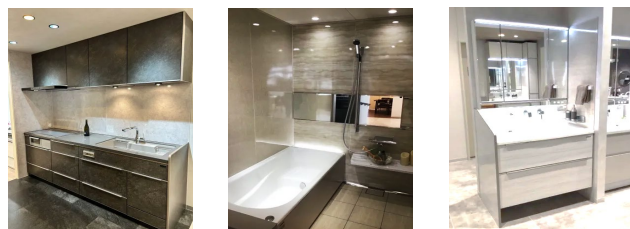


2024年7月に南大阪ショールームを新規オープン

大阪府内の堺ショールームと岸和田ショールームを統合して移転。2拠点に分散されていたショールームを統合することで、接客力が大幅に増加し、これまで以上にお客さまに寄り添った提案が可能に。



(南大阪ショールーム内観)



「暮らしを想像できるショールーム」がコンセプトの空間展示では、ご予算やお好みのテイスト別に幅広く製品を展示。全ての展示でインテリアにもこだわり、この空間ごと欲しい、と思っただけのような展示となっています。さらに、地元家具店の商品で展示を揃えるなど、地域の皆さまに親しみを感じていただけるショールームです。

タカラスタンダード新人事制度運用開始

年功序列廃止や多様な働き方推進で人財・組織基盤を強化

多様な人財・多様な価値観の下でイノベーションが生まれる組織を目指し、抜本的に改革した新人事制度の運用を、2024年4月より開始しました。なお、等級や賃金、評価制度など、人事制度全体を通しての見直しは当社として初となります。

新人事制度コンセプト

「Change for the “Next Standard”」

企業理念3つの“Standard”

Living Standard(住生活水準)/Ethical Standard(倫理規範)/Quality Standard(品質基準)

NEW 人財ポリシー ①チャレンジ人財 ②育成/成長人財 ③自律自走人財

NEW 等級制度	NEW 評価制度	NEW 賃金制度
人財ポリシーを等級要件に反映し、キャリアパスを明確に設定	等級要件と評価項目をリンクさせ、簡潔な評価ルールを設定	等級・評価制度の連動した処遇でメリハリのある賃金を設定

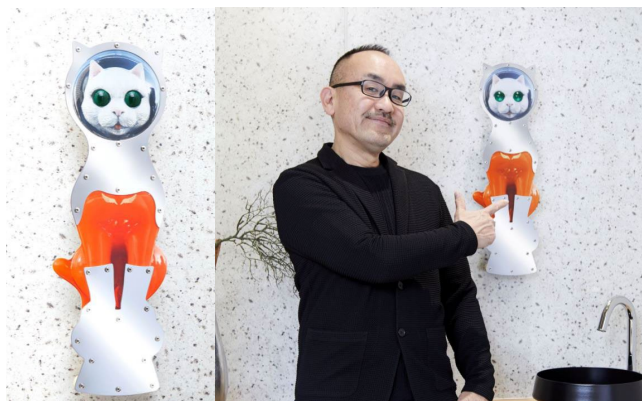
制度改革の主なポイント

【1】等級制度	「年功序列の排除」「等級要件の再設定」「役職の廃止」
【2】働き方改訂	「総合職への統合」「勤務地区分の設定」「専門職コースの設定」
【3】評価制度	「評価方法の刷新」「多面(360度)評価の導入」
【4】ネクストキャリア制度	定年後の多様な働き方と賃金バランスの実現
【5】採用強化	「リファラル採用」「アルムナイ採用(カムバック採用)」

ホーロー×アートプロジェクト

アーティスト支援による社会貢献活動と「高品位ホーロー」の新たな価値創造を目的として、2022年8月に「ホーロー×アートプロジェクト」を発足。アーティストの方とのコラボレーションによって自社にはない発想やチャレンジが生まれること、それによってホーローの可能性がこれまで以上に広がることを目的に、さまざまな取り組みを行っています。

ヤノベケンジ氏とコラボ「SHIP'S CAT(Mirror)」発売



現代美術作家・ヤノベケンジ氏の代表作で「旅の守り神」という巨大な猫の「シップス・キャット」を再現した鏡「SHIP'S CAT (Mirror)」を限定発売。暮らしの中にアートを取り入れて身近に感じてほしいというヤノベ氏の思いと、ホーローを通じて皆さまの暮らしを豊かなものにしたい、というタカラスタンダードの思いが一致し、ホーローアートパネルを応用した鏡である「シップス・キャット・ミラー」を発売する運びとなりました。

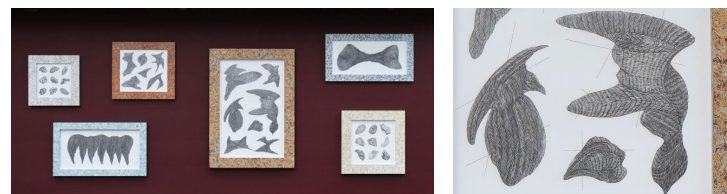
「SHIP'S CAT (Mirror)」の詳細はこちらへ

<https://www.takara-standard.co.jp/brand/yanobekenji/>



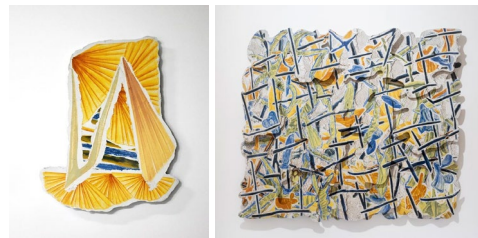
アートにも最適なホーロー外装材「エマウォール」

ホーロー外装材「エマウォール エクステリアタイプ」が、千島土地株式会社(大阪市住之江区)の本社ビル1階外壁に展示する作品に採用されました。繊細なタッチのドローイングが特徴のアーティスト、野原万里絵氏の作品を独自のホーローインクジェット印刷で表現しました。



「大阪アート&デザイン 2024」に初出展

現代美術作家・川田知志氏と共同制作したホーローアート作品。「好奇心と美しい暮らし」をテーマに、2022年より展開してきた共同制作の軌跡を体感的に楽しめる展示を行いました。



※「大阪アート&デザイン 2024」は2024年6月25日に終了しました。

< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL 06 - 6962 -1502

E-mail ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2024年8月1日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。